シルクビートガン取扱説明書

Type／SB−302

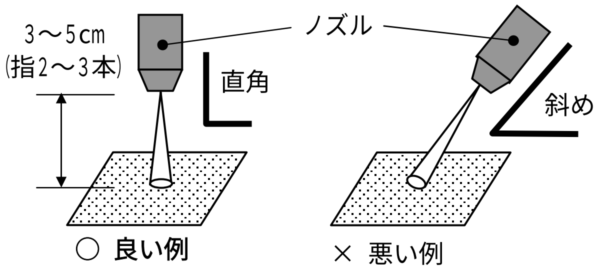
2009

この度は、シルクビートガンをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
末長く御愛用頂くために、下記の使用法をよくお読みの上、正しくご使用下さいますようお願い致します。

◎ 角度及び距離 (図1)

生地より3〜5cmほど離して、また生地に対して液が垂直に当たるようにしてご使用下さい。
生地に対して液が斜めに当たったり、生地との距離が近すぎたりすると、生地よれ等の原因にもなりますので、ご注意下さい。

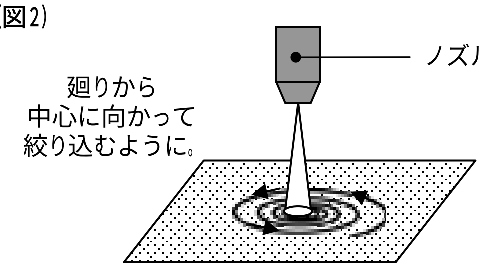
(図1)



◎ 手順 (図2)

シミ、汚れの中心からいきなり処理すると、シミ、汚れが回りに広がる場合がありますので、汚れに対して周りから中心へ絞り込む感じに落としていく様にすると、汚れが周りに広がりにくく、効率のよい、しみ汚れ落としが出来ます。

(図2)

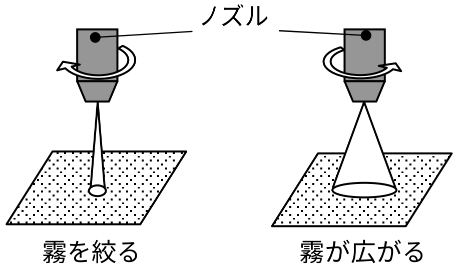


◎ ノズルについて (図3)

○ノズル本体を左右に回すことにより、霧の状態が調整出来ます。生地厚や汚れの度合い等の状況によって、調節してご使用下さい。

○シルクビートガンには、霧を絞りすぎて生地を痛めないために、調整可能なストッパーが付いています。詳しい調整の方法は別紙ノズルストッパー設定方法を御覧下さい。

(図3)



◎ 圧力調整

シルクビートガンのBOXに付いているダイヤルによって、圧力を簡単に調整することが出来ます。
生地厚や汚れ度合いによって、ダイヤルを調整しながらご使用下さい。

◎ ドレン液 (図4) (図5)

シルクビートガンはポンプ内のドレン止めOリングによって基本的にはドレン液が出ない構造になっていますが、万が一Oリングが消耗しても、ポンプ内部の特殊構造によって、ドレン液を強制排出させるようになっていますので、排出の抵抗が出来るだけ掛からないように、ドレンホース（青色）の先端が液体の中につからないようにして下さい。
又ドレンホース（青色）が途中で折れていたり、エアー弁がホコリ等で塞がれていたりするとすると、ドレン液が排出できなくなり、ガン内部に液が入ってしまう可能性がありますのでご注意下さい。

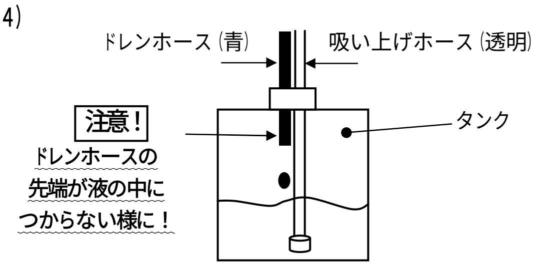
（ドレン液が多量に出るようになった場合は、念の為ドレン止めOリングを交換してください。）

◎ コントロールBOX

コントロールBOX側面のDC Inコネクター（2箇所）に、付属の変圧器を必ず2個共接続し、100V電源へ差し込んで下さい。2個接続しないとガンが正常に動作しなくなります。

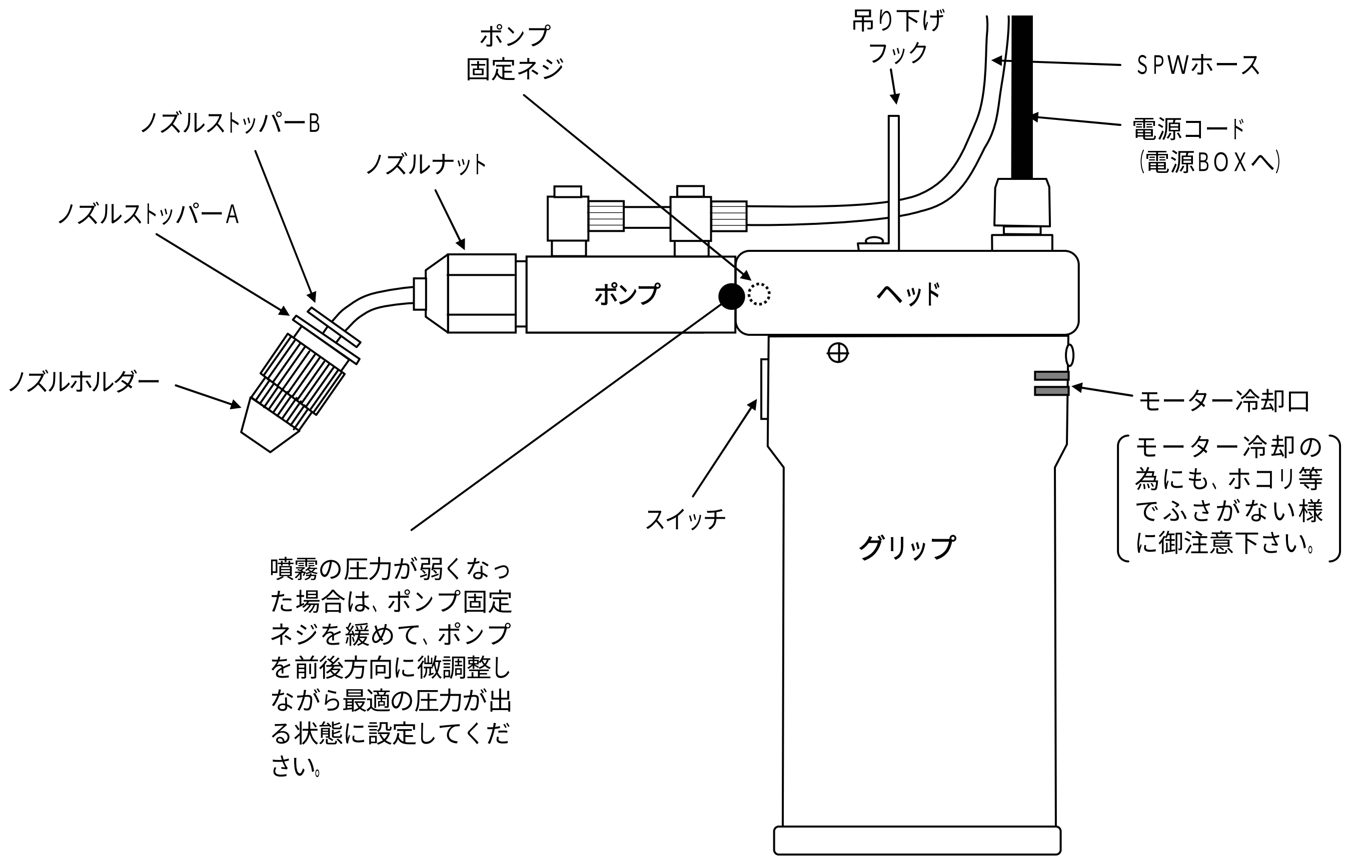
シルクビートガンのコントロールBOXには、内部に異常が発生すると安全装置が働き、自動的に電源をカットする機能が付いています。安全装置が働くとパネル前面のアラームランプが点灯しますので、その場合はRESETスイッチを押してください。
（何度もアラームスイッチが点灯する場合は、内部の故障が考えられますので、お手数ですが販売店等に御連絡下さい）

(図4)

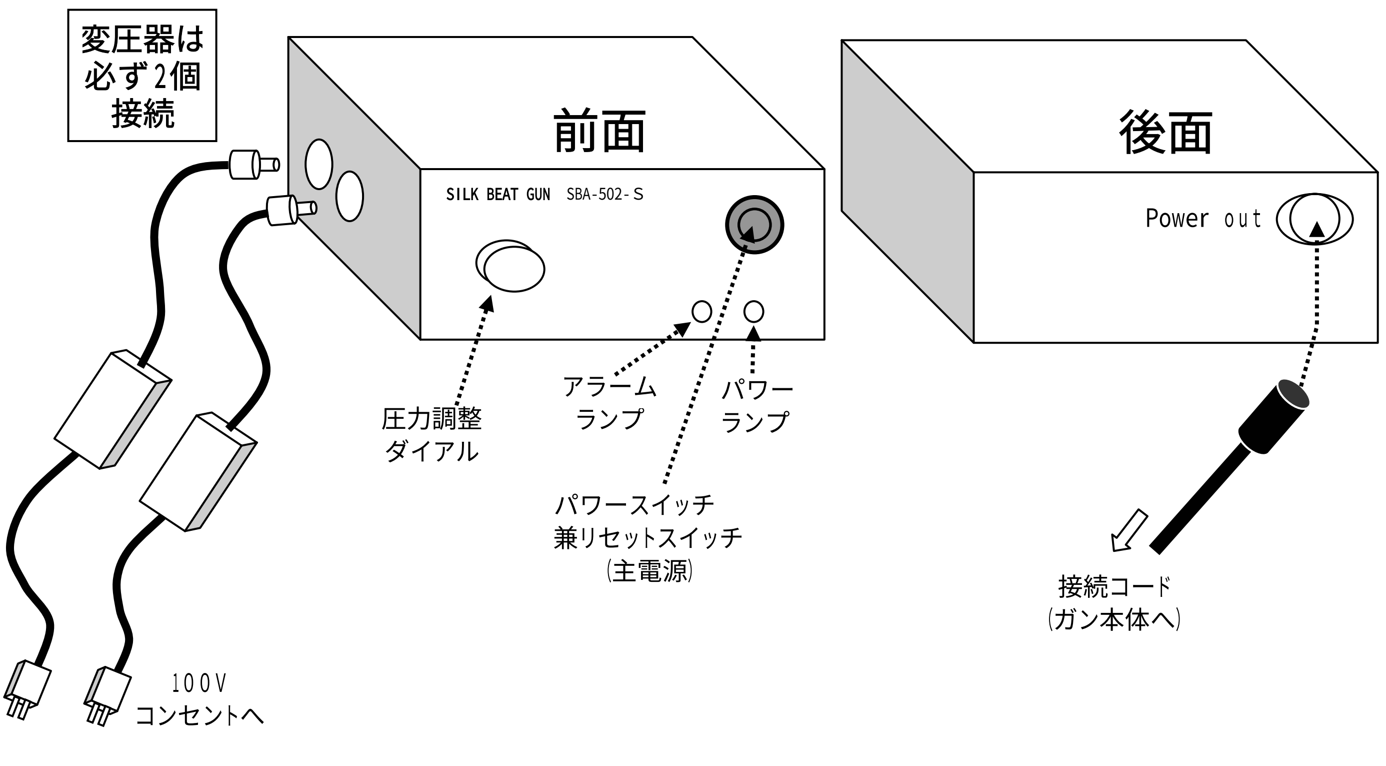


【シルクビートガン 基本図】

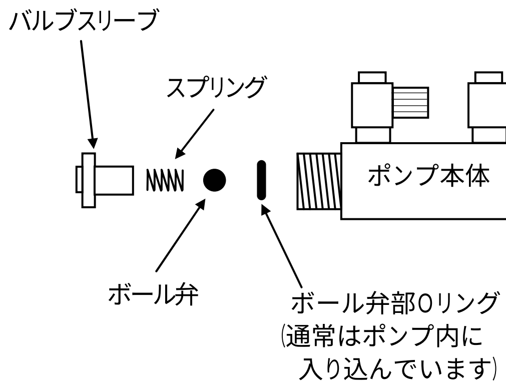
【ガン本体】



【電源BOX】



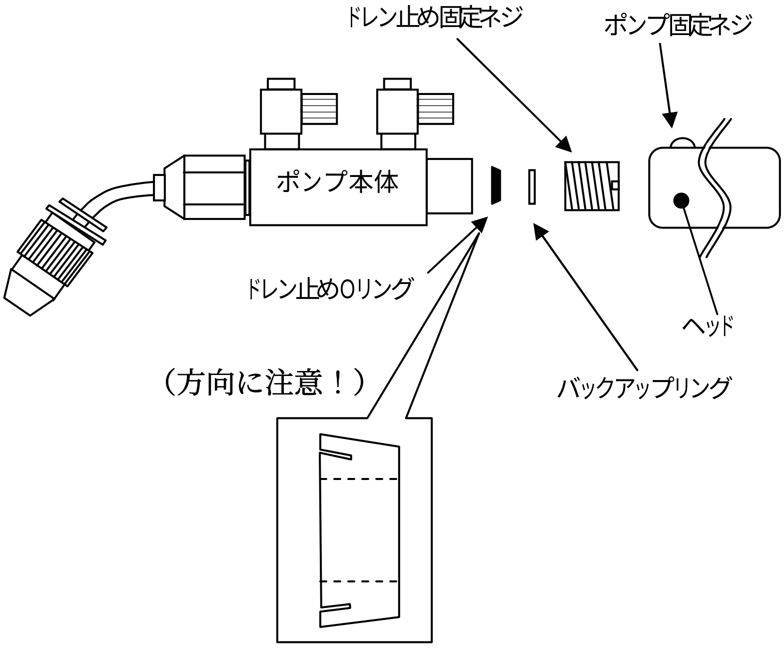
ポンプ内ボール弁 分解図



液が上がらない又は液が下がってしまう場合は
ボール弁部のごみ付着等が考えられますので、左図
を参考にして、ごみを取り除いて下さい。

① ノズルナットをゆるめてノズルユニットをポンプ本体より外して下さい。
② ポンプ先端よりバルブスリーブを外して下さい。
③ ポンプ中にスプリング＆ボール弁が残っているようでしたら、それらを取り出して、ボール弁に付着している異物等をきれいに取り除いて下さい。
④ 念の為、ポンプの中も綿棒で掃除して下さい。
⑤ ボール弁部Oリングは基本的にはポンプ内に入り込んでいるものですが、状況によっては細い棒状のようなもので取り出して、内部も掃除して下さい
⑥ ①～③の逆の順で組んで下さい。

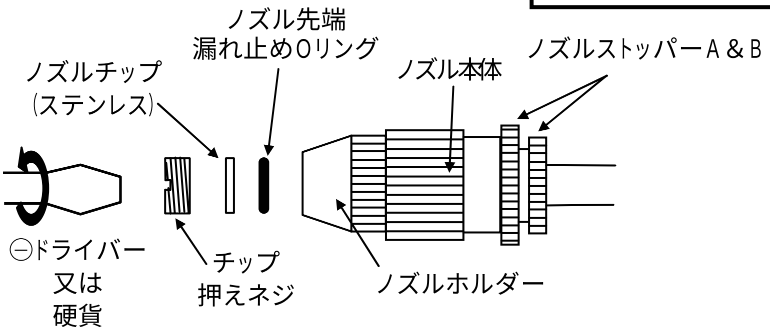
ドレン止めOリング交換図

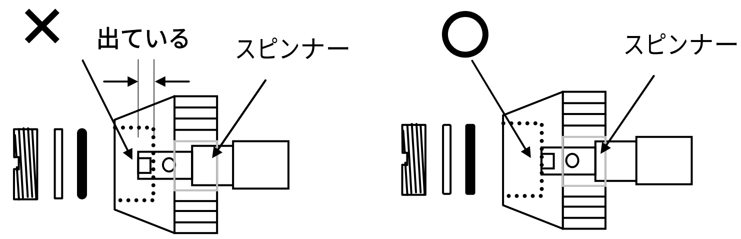


ドレン液が多量に出る場合は左図を参考にして、ドレン止めOリングを交換してください。

① ポンプ固定ネジを2箇所緩めて、ヘッドよりポンプ本体を引き抜いてください。この時念の為ヘッドとポンプ本体との隙間の距離を確認しておいて下さい。（Oリング交換後に組み立てる時、この箇所の距離を覚えておくと調整時に便利です）（基本図のガン本体図参照）
② マイナスドライバーでポンプ本体内部のドレン止めネジを取り外してください。
③ ポンプ内部に入っているバックアップリング及びドレン止めOリングを取り出してください。
④ 新しいドレン止めOリングを変形しない様に注意しながら、先の丸いような細い棒等でポンプ本体内部に挿入してください。又方向にも注意してください。少し広がっている面がポンプ内部側になります。
⑤ 先程取り外したバックアップリングを挿入して下さい。
⑥ ドレン止め固定ネジをしっかり締め付けて下さい。
⑦ 組み上げたポンプ本体をガン本体のヘッド部分に取り付けてください。この時初めに設定していた隙間の距離にして頂ければ、最も圧力の出る状態になります。
⑧ ポンプ固定ネジをしっかり締め付けて下さい。

ノズル先端 分解図





霧が割れたり、液が急に出なくなった場合はノズル先端チップにゴミが詰まった可能性が有りますので、左図を参考に分解して頂き、異物を取り除いてください。

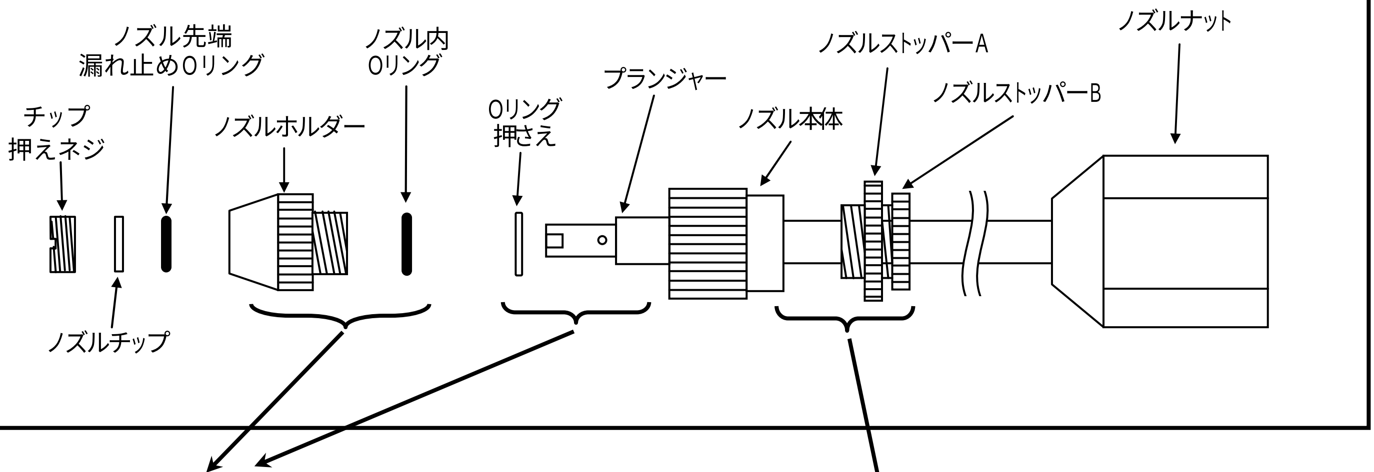
① ノズル本体を、霧を絞る状態方向に回します。

② ノズルホルダーをしっかり固定して頂き、チップ押さえネジの先端より㊀ドライバーや硬貨等でネジを緩めて外してください。

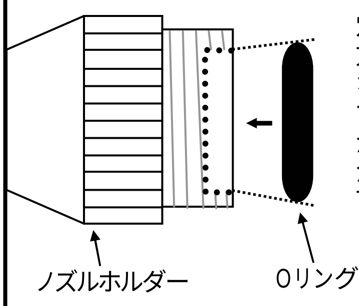
③ ノズルチップ･ノズル先端パッキンを取り出し、ノズルホルダー内のゴミを綿棒等を使用して取り除いて下さい。穴が詰まっている場合は、針などで穴を傷めない様にして取って下さい。

④ 左図を参考にして、ノズル本体を霧を絞る状態方向に回して、パッキン･チップを入れて押えネジで締め付けたとき、プランジャーがノズル先端パッキンに干渉しない事を確認しながらチップ押えネジをしっかり締め付けて下さい。

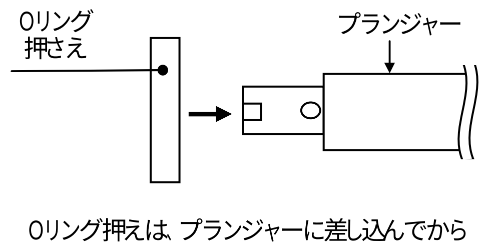
ノズル　分解図



ノズル内Oリング

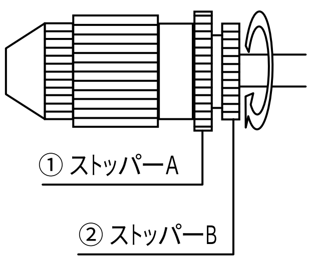


穴よりOリングの方が少し大きくなっていますので、Oリングが浮かない様にしっかりはめ込んで下さい。



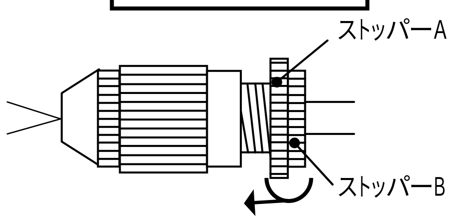
Oリング押えは、プランジャーに差し込んでから
ノズルホルダーと組み立てて下さい

ストッパー外し方

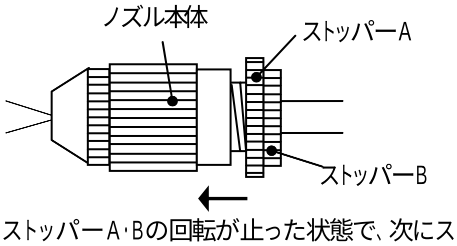


①ストッパーAを緩めてから
②ストッパーBを外します。

ストッパー設定



ストッパーを利かせたい霧の状態にノズルを回転調整した後、ストッパーAとストッパーBを合わせて矢印方向に閉めていきます。



ストッパーA･Bの回転が止った状態で、次にストッパーAだけを矢印の方向に閉めて、最終でペンチ等でノズル本体と、しっかり締め合わせて固定して下さい。

故障かな？ と思う前に・・・

症　　状	原　　因	対　処　法
☆モーターの回転数が落ちる！	★使い始めは機械各部が慣れていない為回転が上がりにくいことがあります ★ご使用の液に粘度がありませんか？	◎液を通さずに15〜20秒カラ打ちして下さい。 ◎粘度の少ない液をご使用下さい。
☆コントロールBOXの電源が入らない！	★コンセントが抜けていませんか？ ★ヒューズが切れていませんか？ ★変圧器の接続が1台ではないですか？	◎コントロールBOX背面のヒューズを交換してください。(2アンペア) ◎1台の接続では電気容量が足りません。必ず2台共接続してください。
☆コントロールBOXの電源は入っているのに、シルクガンが動かない！	★BOXとシルクガンのコードが確実に接続されていますか？ ★ノズルの穴がふさがっていませんか？ ★アラームランプが点いていませんか？	◎接続部を確認してください。 ◎ノズル分解図を参考に、ノズルホルダー内やノズルチップ部の異物を取り除いてください。 ◎一度主電源をOFFにして3秒程してから再度電源をONにして下さい。(リセット機能) (繰り返しアラームが点灯する場合は、BOXまたはガン本体の異常が考えられます。ご使用をお止め頂き販売店様又は当社にご連絡下さい)
☆霧の方向が急に変わる、霧が割れる ☆ノズルの繋ぎ目から液漏れがする！ ○ノズルナットの部分 ○ノズル先端部分 ○ノズルストッパーの部分	★ノズルの中に異物が入ってませんか？ ★ノズルナットがしっかり締まっていますか？ ★チップ押さえネジがしっかり締まっていますか？ ★ノズル本体とノズルホルダー間がゆるんでいませんか？ ★ノズル内Oリングが消耗していませんか？	◎ノズル先端分解図を参考に、ノズルホルダー内の異物を取り除いてください。 ◎14mmスパナ等でポンプ本体にしっかり締めつけて下さい。 ◎ノズル先端分解図を参考に、一度チップ押さえネジを緩めて、プランジャーの状態を確認してから㊀ドライバー等でしっかり締め付けて下さい。 ◎AB間を2本のペンチ等でしっかり締めて下さい。 ◎ノズル分解図を参考に、ノズル内Oリングを交換してください。
☆液が上がってこない！	★ノズルの穴がふさがっていませんか？ ★ポンプ内ボール弁にごみがついていませんか？	◎ノズル内の異物を取り除いてください。 ◎ポンプ内ボール弁分解図を参考にして、ゴミを取り除いて下さい。
☆液が下がる！	★ポンプ内ボール弁にごみがついていませんか？ (ポンプ内の真空が保たれずに液が下がってしまいます。) ★ホースの何処かで穴が開いていませんか？ (ポンプ内の真空が保たれずに液が下がってしまいます。)	◎ポンプ内ボール弁分解図を参考にして、ゴミを取り除いて下さい。 ◎ガンを打っている状態で、ホース内に気泡が発生している箇所があるようでしたらホースを交換してください。
☆水圧が弱くなった！ ☆液が出なくなった！	★コントロールBOXの圧力調整ダイヤルが動いていませんか？ ★ポンプの位置が動いていませんか？	◎コントロールBOXの圧力調整ダイヤルを確認して下さい。 ◎基本図を参考に、ポンプの位置を調整して下さい。
☆ポンプとヘッドの継ぎ目より液が出てきた！	★ドレンホース先端が液の中に入っていませんか？ ★ドレンホースが途中で折れていませんか？ ★エアー弁にゴミがたまって塞がっていませんか?	◎ドレン液が出やすいようにホース先端は液中に入らないようにして下さい。 ◎エアー等でエアー弁部のゴミ等を掃除して下さい。

警告

☆　引火性のある液は危険ですので、ご使用にならないで下さい。
☆　シルクビートガンの噴霧液は高圧力ですので、お子様が誤って手の触れる事のない様御注意下さい。
☆　ノズルの先を人の顔などに向けないように、御注意下さい。
☆　シルクビートガンをシミ抜き以外の目的で使用しないで下さい。
☆　シルクビートガンは精密機械なので、指定箇所以外は絶対分解等しないでください。
又指定箇所の部品交換時は必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。

株式会社 サン京都

〒600-8885　京都市下京区七条通り春日下る一筋目西入る
TEL(075)315-2808(代)　FAX(075)321ー1895
URL　http://www.sunkyoto.com　　E-mail　info@sunkyoto.com